

令和3年度 第2回学校評議員会

A氏

生徒数の減少により存続が危ぶまれる中でも、進路決定率 100%は素晴らしい成果であり、本校にしかないものと確信している。しかし、教職員の学校評価で「不十分」と回答している部分や要望意見等で「改善の余地がある」とした部分について、職員一丸となって向上して欲しいと思う。今年度は、野田村パエリアプロジェクトに関わらせていただきありがたかった。今後も継続して参加できたらと思う。

B氏

様々な行事が中止となる中、プログラミング出前授業は、中学生が高校生と関わり合える貴重な機会であった。今後も継続して欲しい行事である。また、ウエイトリフティング部のインターハイ出場など全国の舞台で活躍する部活動との交流があれば、工業高校に対する関心もより高まるように思う。教育活動の充実ぶりは、学校評価における保護者の高評価からも伺い知ることができる。更に、工業高校へ進学した卒業生の成長や活躍を拝見するたび、手厚い指導に感謝している。

C氏

新型コロナウイルス感染症対策で大変な中、無事に修学旅行に行くことができたことは高校生活での良い思い出になったと思う。今年度も高校生の地域貢献や頑張りが新聞等で取り上げられ、地域住民として嬉しく思う。今後は更に SNS 等を使って、広く PR してみるのものいいのではないか。成人年齢引き下げや金融教育プログラムが始まるため、新たな分野で他校と何らかの差別化ができれば本校の特色に

なると思う。最後に、教職員が明るく熱い思いを持って行動することで、今後も社会人の見本となって生徒を導いて欲しい。